



小さくてもキラリ光る交流の町



行灯と灯

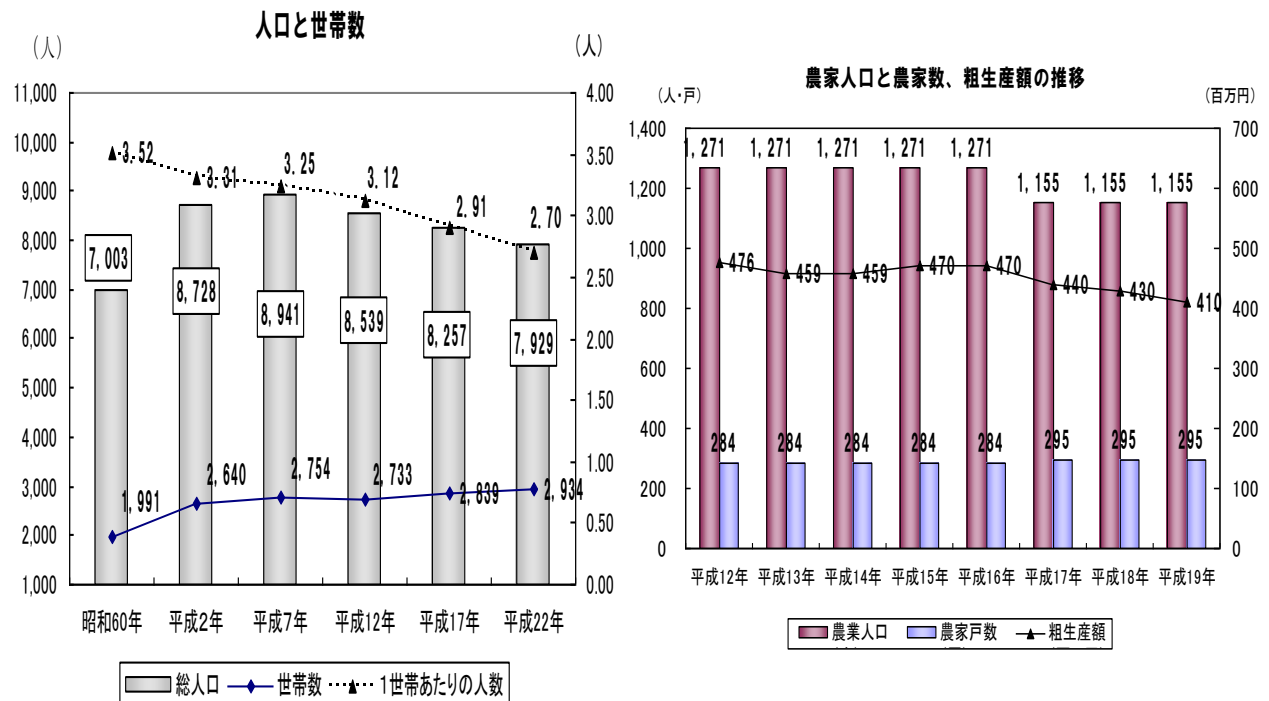


安堵町歴史民俗資料館



村落遠望

本町のデータ



本町の概要

● 位置

<歴史の故郷ともいべき奈良盆地の一角にあり、一方、大阪・京都を通勤圏に有する>

○奈良盆地の西北部にあり、奈良時代からの我が国の歴史のルーツの1つのエリアを形成している。

○奈良市まで直線距離で10km強、大阪市まで30km、京都市まで50kmと関西の大都市の通勤圏の位置にある。

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

総合計画の将来像「小さくてもキラリ光る交流のまち あんど」とても小さな町であっても、住民一人ひとりが輝き、町づくりの主役となり、生涯にわたって自己実現を図っていける町をめざしています。

その考えに基づき、自殺対策は住民一人一人の多層的な問題に関係機関、関係団体等の連携のもと、対応していく事で、自殺に追い込まれる事態を予防できるとの考えから、自殺対策のネットワークの構築を図り、庁内関係機関の窓口をはじめとして、住民組織にもゲートキーパーとしての視点を持つ人材の育成を図る。

### <具体的な取り組み>

#### <平成24年度の取り組み>

奈良県の自殺対策緊急強化対策を受け「こころの相談室」「ゲートキーパー養成事業」を実施した。

- ・ 「こころの相談室」平成24年10月から開始し月4回で延べ50人の相談者があった。  
相談者の必要に応じ関係機関との連携を図った。
- ・ 「ゲートキーパー事業」は講師を招いて職員向けゲートキーパー養成講座を実施した。
- ・ 第2期すこやか安堵21計画(安堵町健康増進計画)に「休養・こころの健康」を盛り込みキャッチフレーズを「趣味と友達つくって出かけよう」と決定した。

#### <平成25年度の取り組み>

- ・ 「こころの相談室」の継続(月4回、原則的に予約が必要)
- ・ 「ゲートキーパー養成講座」の住民向け講座を実施予定
- ・ 第2期すこやか安堵21計画の推進のため住民参加のワーキング会を実施している。  
「休養・こころの健康」ワーキングでは、平成25年度、人と人が交流できる場や機会の情報を発信、お知らせできるような活動を実施する。声を掛け合う事のできる住民ネットワークを確立したい。